

# はじめに

札幌市では、発達障がいのある人たちが社会で十分活躍できるよう、支援体制づくりに取り組んでいます。この冊子は、これまで札幌市保健福祉局就労支援プロジェクトが制作してきた「虎の巻シリーズ」の「職場編」「暮らし編」、札幌市教育委員会との虎の巻作成プロジェクトによる「学校編」（「統・学校編」は発達障がい以外の事例も掲載）に続く、「幼児編」ともいべき内容となっています。

主人公の「虎夫くん」「卷子さん」の幼児期に起きる周囲とのいろいろな“認識の違い＝ギャップ！”について、その感情や行動の背景などを目に見える形で表現し、解決に向けた対応の一例を示しています。

毎日の生活の中では、「どうして…」と思い、悩んでしまうことがいろいろとあるかと思いますが、この冊子をお読みになり、「こうかもしれない」「こうしてみよう」と、前向きにとらえていくきっかけとなれば幸いです。

この冊子は、保育園や幼稚園、発達相談の担当者、保護者の方などを中心とした虎の巻作成プロジェクトで幾度も議論を重ねるとともに、発達障がいのある人たちへの支援に携わる関係者の協力を得るなど、多くの人たちの体験や考えを基に制作されています。

子どもの発達は一様ではありません。「でこぼこ」があるのが自然のすがたです。ひとりひとりの違いを受け止めながら子育てをする中で、親もまた、共に育ちます。そんな「共育て」の思いを込めた本冊子が、子どもの支えはもちろん、親の支えに、そして地域の支え合いの一助になればと願っています。

札幌市教育委員会 虎の巻作成プロジェクト 札幌市保健福祉局

## 登場人物の紹介

虎夫くん、卷子さんは、「相互的な対人関係の障がい」や「コミュニケーションの障がい」「興味や行動の偏り(こだわり)」の3つの特徴が現れることのできる、自閉的な傾向のある子どもです。後に、虎夫くんは自閉症、卷子さんはアスペルガー症候群という診断を受けますが、そのずっとずっと前の幼児の頃のお話です。



虎夫くん

虎夫くんは、こだわりが強く、自分のやり方や予定が変わることが苦手な子です。そのようなことに遭遇するとパニックになってしまい、激しく怒ったり、気持ちの切り替えにとても時間がかかってしまいます。でも、関わり方を少し変えてみることで、虎夫くんの生活にも大きな変化が!!



卷子さん

卷子さんは、周囲とうまくコミュニケーションをとることが苦手な子です。そのため、いつもかんしゃくを起こしていたり、自分勝手なふるまいをしてばかりの子と見られがちです。でも、関わり方を少し変えてみることで、卷子さんの生活にも大きな変化が!!

この冊子は、子育てにあたっている保護者やそれを支える関係者の方々のお話を基に、幼児期の子育てにおいて様々な困難を抱える保護者や子どものまわりで発生しがちな

“認識の違い”を **ギャップ!!** として表現し、その解決策となる支援ポイントを **チェンジ!!** として示しています。

双方の理解が深まるほど **グッドジョブ!!** という好結果につながります。

## 子育てで使える「虎の巻」もくじ

### ●虎夫くん編

虎の巻 その一	協力上手 ～寄り添う姿勢で遊び共有～ …… 4
虎の巻 その二	生きたことばを ～見たもの言えば言葉は身につく～ …… 6
虎の巻 その三	新たな経験 ～拡がる興味で画面の外へ～ …… 8
虎の巻 その四	変更予告 ～見通し持てれば不安解消～ …… 10



### ●卷子さん編

虎の巻 その五	二手先明示 ～先の見通し、切替え促す～ …… 12
虎の巻 その六	食感の工夫 ～ひと手間あればごちそうに～ …… 14
虎の巻 その七	交際の作法 ～親しき仲にも礼儀あり～ …… 16
虎の巻 その八	助け舟 ～手を差し伸べればお願い上手に～ …… 18



発達障がいのある人々とは …… 20
相談・支援機関の紹介 …… 22